BROAD NET MUX CORPORATION

無線ケーブルモデムゲートウェイ

BCW700J

取扱説明書

ご使用の前に、『安心してお使いいただくために』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お客様に安全に使用していただくための事項です。

株式会社ブロードネットマックス

Copyright©2011 Broad Net Mux Corporation, All Right reserved.
・本取扱説明書の内容の一部または全部を許可なしに無断で転載することは禁止されています。
・本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
・本製品を運用した結果、または本書に記載されている情報から生じた影響については、責任を負いかねますので、ご了承ください。

Windows、Windows 7、Windows Vista、Windows XP、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
MAC OS X、AirMac、iPad、iPhone は Apple Inc.の登録商標または商標です。iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
ニンテンドーDS、ニンテンドーDS Lite は任天堂の登録商標です。

目　次

1. はじめに..2
2. 安全にお使いいただくために......................2
3. 概　要..20
4. ご使用になる前に................................21
   4.1. 箱の中身を確認してください.................21
   4.2. 各部の名称 21
   4.3. LED ランプ表示について 22
5. ケーブルモデムを設置する........................23
6. スタンドの広げ方................................24
7. 壁掛けについて..................................25
8. ご使用方法......................................26
9. 仕　様..27
10. ネットワーク機器を接続する.....................28
   10.1. 有線 LAN での接続..........................28
   10.2. 無線 LAN での接続（Windows 7 編） 29
   10.3. 無線 LAN での接続（Windows Vista 編） 31
   10.4. 無線 LAN での接続（Windows XP 編） 34
   10.5. 無線 LAN での接続（MAC OS X 編） 36
   10.6. 無線 LAN での接続（iPad / iPhone 編） 38
   10.7. 無線 LAN での接続（WEP 認証での接続） 41
   10.8. 無線 LAN での接続（その他の機器） 44
   10.9. 無線 LAN での接続に失敗する場合............44
11. 工場出荷時設定と初期化方法について............45

1. はじめに

このたびは、無線ケーブルモデムゲートウェイ「BCW700J」(以下、本製品)をご使用いただきましてありがとうございます。
お使いになる前に、本製品の機能を十分にいかして正しくご利用いただくために、この取扱説明書を最後までよくお読みください。
お読みになったあとは、必ず大切に保存してください。

2. 安全にお使いいただくために

本書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくための重要な内容を記載しています。
また、より確実に理解していただくために表示と図記号を添えて表現しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みください。

■表示の説明

⚠ 警告	「誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷(*1)を負う可能性のあること」を示します。
⚠ 注意	「誤った取り扱いをすると、人が傷害(*2)を負う可能性、または物的損害(*3)のみが発生する可能性のあること」を示します。

(*1) 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
(*2) 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電をさします。
(*3) 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

⊘	禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
●	指示する行為の強制(必ずやること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△	注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■免責事項について

・地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
・本製品の使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求などについて、当社は一切責任を負いません。
・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

■用途限定

本製品は、人の生命に直接関わる装置*1や人の安全に関与し公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置*2などの制御に使用するよう設計・製造されたものではないため、それらの用途には使用しないでください。

*1：人の生命に直接関わる装置とは、次のものをさします。
- 生命維持装置や手術室用器具などの医療機器
- 有毒ガスなどの排ガス、排煙装置
- 消防法、建築基準法などの各種法令により設置が義務づけられている装置
- 上記に準ずる装置

*2：人の安全に関与し公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置とは、次のものをさします。
- 航空、鉄道、道路、海運などの交通管制装置
- 原子力発電所などの装置
- 上記に準ずる装置

■Trademarks

本書に記載されている製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは記載していません。

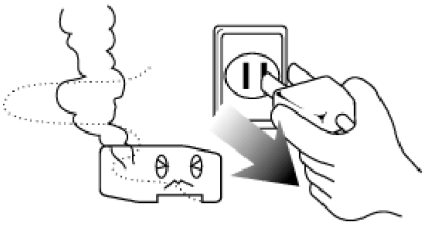
⚠ 警告

製品本体について

●異常な臭いがしたり、加熱、発煙したときは、ただちに、コンセントから電源プラグを抜いてください

・そのまま使うと、火災、故障の原因となります。
「保守窓口」へ、点検を依頼してください。

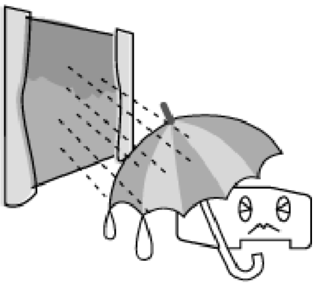
電源プラグを
コンセントから抜く



●雨、霧などが直接入り込むような場所では使わないでください

・雨、霧が付着して、火災、感電および故障の原因となることがあります。

禁　止



●必ず、本製品付属の AC アダプタを使用してください

・本製品付属以外の AC アダプタでは、電圧や(＋)(－)の極性が異なっていることがあるため、火災、破裂、発煙のおそれがあります。

強制指示

⚠ 警告

製品本体について

●お客様ご自身で修理、改造、分解をしないでください

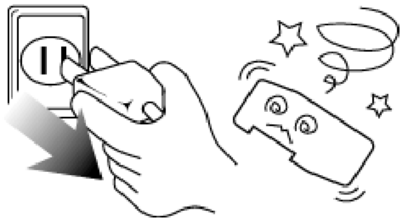
・火災、感電、やけど、けがの原因となります。

分解禁止

●装置を落としたり、強い衝撃を与えたときは、ただちに、コンセントから電源プラグを抜いてください

・そのまま使うと、火災、発煙の原因となります。
「保守窓口」へ、点検を依頼してください。

電源プラグを
コンセントから抜く



●ビニール袋などの包装材料は幼児の手の届かないところに保管してください

・口に入れたり、頭からかぶるなどして窒息のおそれがあります。

強制指示

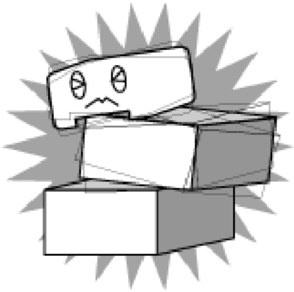
⚠ 警告

製品本体について

●ぐらついた台の上、傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください
また、重ね置きをしないでください

・落ちたり、たおれたりしてけがおよび故障の原因となります。

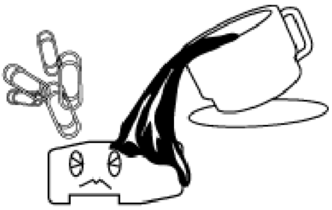
禁　止



●装置内部にクリップなどの金属やコーヒーなどの液体を入れないでください

・ショートによる火災、発煙および故障の原因となります。
・万一、入ったときは、ただちに、コンセントから電源プラグを抜いて「保守窓口」へ、点検を依頼してください。

禁　止



●LAN ポートに LAN 機器以外は接続しないでください

・デジタル回線(ISDN)、電話回線などを接続すると火災、発煙および故障の原因となります。

禁　止

⚠ 警告

AC アダプタの取り扱いについて

●AC100V 以外の電源コンセントには、絶対に AC アダプタを差し込まないでください

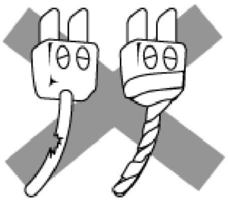
・入力電源条件に適合しないコンセントに接続しますと、火災、発煙および故障の原因となります。

強制指示

●傷ついたり、破損したり、加工した電源コードは使わないでください

・火災、感電、やけどの原因となることがあります。

禁　止



●電源コードを取り扱うときは次の点を守ってください

・傷つけない　・加工しない　・コードをつぎ足さない
・無理に曲げない　・ねじらない　・引っ張らない
・物を載せない　・加熱しない　・熱器具に近づけない
・ドアなどにはさまない
・机、家具などを載せてつぶさない
・釘やステープルで固定しない

強制指示

守らないと、火災、感電、やけどのおそれがあります。
もし、電源コードが傷ついたときは、「保守窓口」へ、点検を依頼してください。

⚠ 警告

無線通信について

●付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性がある場所では、本体の電源を切ってください

・電波により、ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

強制指示

●病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは、本製品を使用しないでください
また、医療用電気機器を近づけないでください

・電波の影響で、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

強制指示

●自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは、本体の電源を切ってください

・電波の影響で、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

強制指示

●本体を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、本体の電源を切ってください

・電波の影響で、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

強制指示

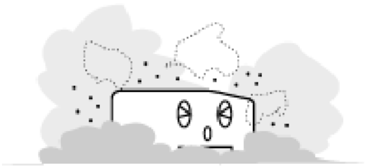
⚠ 注意

製品本体について

●ほこりの多い場所では使わないでください

・ほこりがたまると、ショートによる火災、発煙および故障の原因となります。

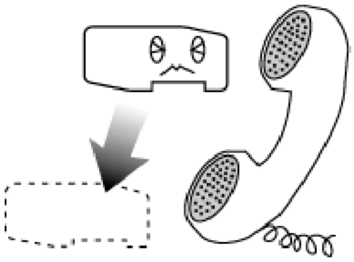
禁　止



●本製品を移設するときは「保守窓口」にご相談ください

・お客様が移設されますとけがをしたり、本製品が壊れたりすることがあります。

強制指示



●近くに雷が発生する恐れがある時は、電源アダプタおよび LAN ケーブルを抜いて、ご使用をお控えください

強制指示

・故障の原因となることがあります。

●雷が鳴り出したら、電源コードおよび製品に触ったり、ケーブルの抜き差しをしないでください
また、RF コネクタの金属部に触らないでください

禁　止

・雷によっては、火災、感電および故障の原因となることがあります。

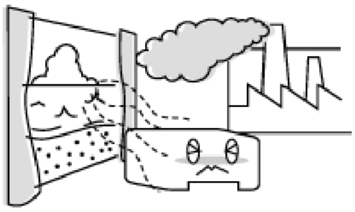
⚠ 注意

製品本体について

●腐食性ガスや塩分を含んだ外気が直接侵入する場所では使わないでください

・発煙、故障の原因となります。

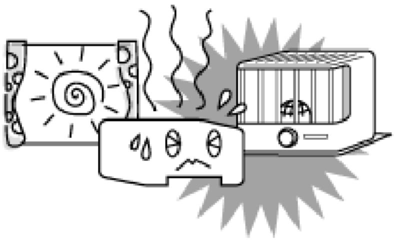
禁　止



●製品本体や AC アダプタに布団をかけたり、直射日光の当たる場所、コタツの中、暖房器具の近くなどの温度の高い場所には置かないでください

・本製品内部の温度が上がり火災および故障の原因となります。

禁　止



●じゅうたん、布団、毛布、ベッドの上では使用しないでください

・装置内部の温度が上がり火災および故障の原因となります。

禁　止

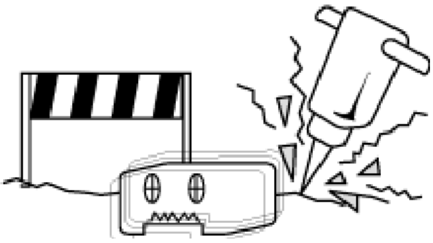
⚠ 注意

製品本体について

●振動の多い場所に置かないでください

・動いたり、たおれたりしてけがおよび故障の原因となります。

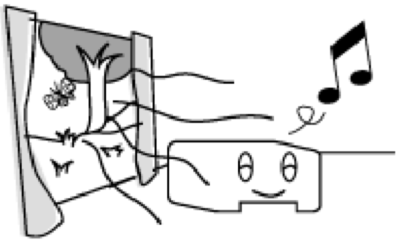
禁　止



●風通しの良い場所に置いてください

・本製品の通風口をふさいだり、布団や毛布などで包んだり、個装箱やビニール袋に入れたまま使用しないでください
本製品の発する熱がこもりやすい場所に置くと、製品内部の温度が上がり、火災、故障の原因となります。

強制指示



⚠ 注意

製品本体について

●風呂場などの水分や湿気の多い場所、および窓際など結露のおそれのある場所の近くでは使用しないでください

・水分や水滴などが付着または製品内部に浸入し、火災、感電および故障の原因となることがあります。

禁　止

●本製品や電源コードを熱器具に近づけないでください

・キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。

禁　止

●近くに紙などの燃えやすいものを置かないでください

・発熱により火災の原因となることがあります。

禁　止

●通風口をふさがないよう、前後左右および上部を各１０cm 以上あけてください

・本製品の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

強制指示

⚠ 注意

製品本体について

●本製品に乗らないでください。また、小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届く場所に置かないでください

禁　止

・けが、やけどの原因となることがあります。

●本製品の上に物を乗せたり、物を落としたりしないでください。

禁　止

・故障の原因となります。

●お手入れをするときは、安全のため必ず AC アダプタを電源コンセントから抜いてください

強制指示

●ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください

禁　止

・変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは､薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

●電源を再投入する場合、必ず電源コンセントから AC アダプタを外した状態で１０秒以上おいてから電源を入れてください

強制指示

・誤動作や故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

製品本体について

●電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください
（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）

禁　止

・磁気や電気雑音の影響を受けると通信できなくなることがあります。
・テレビ画面が乱れることがあります。

●高級家具など高価な物の上に置かないでください

禁　止

・本製品の発熱により、変色、変形の原因となります。

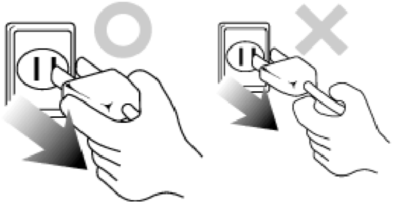
⚠ 注意

AC アダプタの取り扱いについて

●電源プラグ（AC プラグ）をコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、必ず電源プラグを持って抜いてください

・電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災、感電の原因となります。

強制指示



● 電源プラグを AC100V コンセントに差し込むときは、まっすぐに、奥まで確実に差し込んでください

・確実に差し込んでいないと、火災、感電のおそれがあります。

強制指示

●長期間ご使用にならないときは、AC アダプタを電源コンセントから抜いてください

強制指示

●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください

・タコ足配線にするとコンセントが加熱し、火災、感電の原因となることがあります。

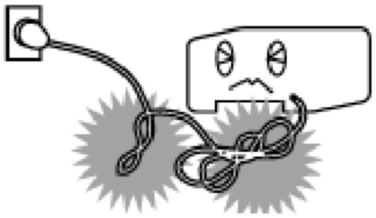
禁　止

⚠ 注意

AC アダプタの取り扱いについて

●電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、またコードの上に重いものを乗せたりしないでください

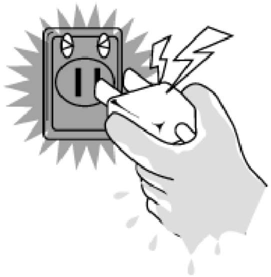
・ショート、断線による火災、感電の原因となります。



禁　止

●濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください

・感電の原因となります。



禁　止

●電源プラグと電源コンセント間のほこりは、定期的（半年に１回程度）に取り除いてください

・火災の原因となることがあります。

強制指示

無線通信の電波に関するご注意

本製品の無線通信で使用する周波数帯では、電子レンジなどの産業・化学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

１）本製品の無線通信を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
２）万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または、電波の発射を停止したうえ、混信回避のための処置についてご契約されたケーブルテレビ事業者にご相談ください。
3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた際は、ご契約されたケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

●電子レンジ付近、静電気や電波障害の発生する場所、金属ドアで遮断された部屋などでは、ご使用にならないでください。

・使用環境により、電波が届かない場合があります。

次の記載は、本製品の無線通信に関する「2.4GHz帯の使用・変調方式・想定干渉距離・周波数変更の可否」を表します。

2.4DS/OF4
▬ ▬ ▬

（表示）	（表示の意味）
2.4	2.4GHz帯を使用する無線設備を表します
DS/OF	DS-SS方式およびOFDM方式の変調方式を表します
4	想定干渉距離が40m以下を表します
■■■	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表します

無線 LAN のセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

・ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
・メールの内容

等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
・コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

本製品の工場出荷状態では WPA/WPA2 Personal のセキュリティが設定されています。

・電波障害自主規制について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置(住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報技術装置)です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されますと、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・仕様について

本製品の仕様は、日本国内向けです。

AC100V 以外では使用しないでください。

また、本製品は屋内専用です。

・取扱いについて

本製品は、特別管理産業廃棄物に該当します。本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問合せください。

本製品は、「外国為替法及び外国貿易法」に基づく輸出規制品に該当するため、日本国外への輸出に関しては法人・個人を問わず経済産業大臣の許可が必要です。

さらに本製品には、米国輸出管理規制の規制を受けた製品が組み込まれており、米国政府の許可もあわせて必要になります。

本製品は、国外（海外）では使用できません。日本以外の規格を取得しておらず、使用する地域の法令・規格に違反する可能性があります。

3. 概　要

本製品は、DOCSIS 規格に準拠した製品です。
また、お客様のローカルエリアネットワーク（LAN）に無線または有線での接続を提供します。
CATV ネットワークを利用し、より快適で高速なデータ通信を可能にしています。

DOCSIS とは？
Data-**O**ver-**C**able **S**ervice **I**nterface **S**pecifications の略称です。
DOCSIS は、CATV ネットワークを利用して高速データ通信を行うケーブルモデムに必要な仕様を定義します。

4. ご使用になる前に

4.1. 箱の中身を確認してください

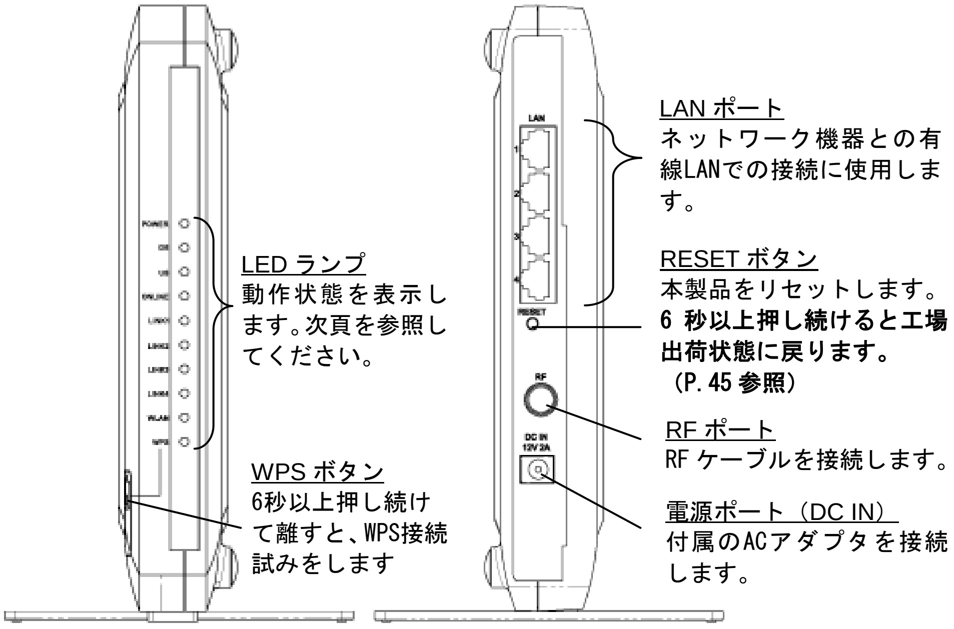
以下に記載されたものを受け取られたかどうかまずご確認ください。
万一不足しているものや破損しているものがありましたら、ご契約されたケーブルテレビ事業者へすぐにご連絡ください。

	数量
・ケーブルモデム本体	1
・AC アダプタ	1
・取扱説明書(本書)	1
・電波干渉注意ラベルシール	1

*同梱品はケーブルテレビ事業者によって異なる場合があります。

4.2. 各部の名称

＜前面＞　＜背面＞



4.3. LED ランプ表示について

本製品の前面には、インジケータとして 7 種類の状態表示ランプ（LED）がついています。各ランプ（LED）の意味は以下のとおりです。

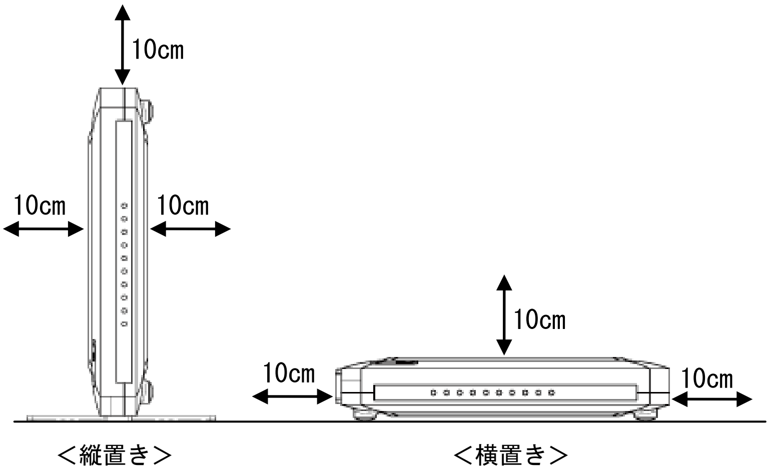
表 1　LED ランプの表示

名称(色)	状態	意　　味
POWER（緑）[パワー]	点灯	AC アダプタから電力が供給されているとき
	消灯	AC アダプタから電力が供給されていないとき
DS（緑/青）[ディーエス]	点灯	通信用のチャンネルを見つけたとき
	点滅	通信用のチャンネルを探している時
	消灯	本製品の準備ができていないとき
US（緑/青）[ユーエス]	点灯	センター側装置（CATV 局）と接続できたとき
	点滅	センター側装置（CATV 局）と接続を開始したとき
	消灯	通信用のチャンネルを見つけていないとき
ONLINE(緑)[オンライン]	点灯	通信サービスが使用可能なとき
	点滅	センター側装置（CATV 局）と設定情報を通信しているとき
	消灯	通信サービスが使用できないとき
LINK 1～4 (橙/緑) [リンク]	点灯/点滅	ネットワーク機器と有線 LAN で接続されているとき
	消灯	ネットワーク機器と有線 LAN で接続されていないか、ネットワーク機器側で通信の準備ができていないとき
WLAN(緑)[ダブルラン]	点灯	無線 LAN が使用可能なとき
	点滅	無線 LAN でネットワーク機器と通信しているとき
	消灯	無線 LAN が使用できないとき
WPS（緑）[ダブルピーエス]	点灯	WPS 機能が使用可能なとき
	点滅	WPS 機能を使用して無線 LAN 機器の登録を試みているとき
	消灯	WPS 機能を使用できないとき

＊ONLINE ランプが点灯状態で DS ランプと US ランプが同時に点滅している場合、本製品がソフトウェアを更新しています。その時は、電源切らずにしばらくお待ちください。なお、ソフトウェアの更新はケーブルテレビ事業者が行いますので、お客様が本製品に設定をする必要はありません。

5. ケーブルモデムを設置する

本製品は、縦置きまたは横置きでご使用できます。過熱を避けるために、通気口のある本製品の側面及び上面のいずれも少なくとも 10cm の間隔を空けてください。また間隔を空けた場合でも、本製品全体を覆うような形での設置はおやめください。
縦置きする場合には、必ずスタンドを広げてください。スタンドの広げ方については、次ページを参照してください。
横置きする場合には、必ずゴム足の面が下になるように置いてください。
その他の注意事項については、「2.安心してお使いいただくために」の記載内容にしたがってください。

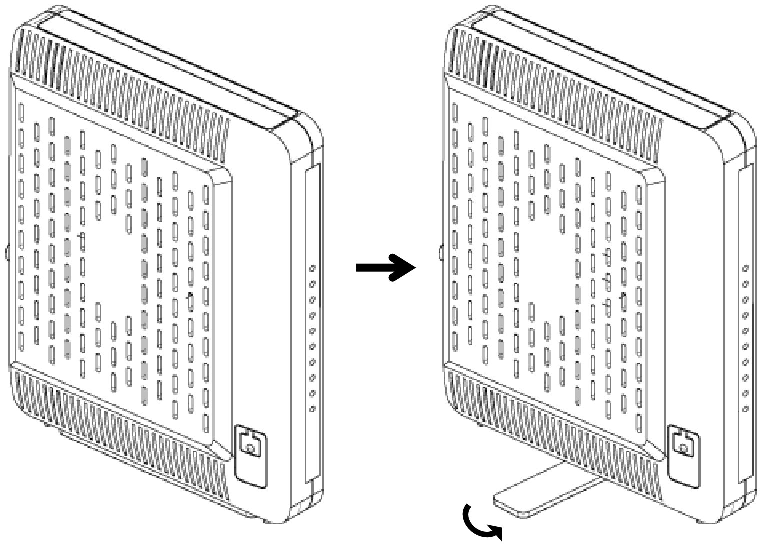


6. スタンドの広げ方

縦置きする場合は、ケーブルモデムの底面のスタンドを広げてご使用ください。

下図のように、スタンドを直角にしっかりと回転させてください。

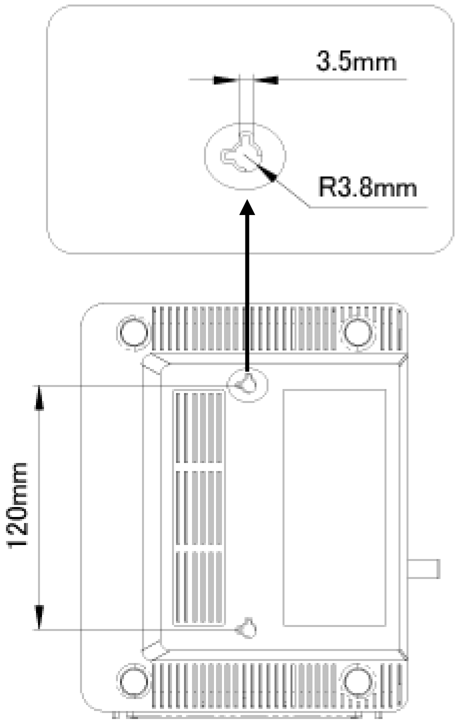
スタンドを回転させる場合、手や指などを挟まないように注意してください。



＜スタンド＞

7. 壁掛けについて

壁掛けする場合は、ケーブルモデムの側面の穴に引っ掛けてご使用ください。過熱を避けるために、通気口のある本製品の側面及び上面のいずれも少なくとも 10cm の間隔を空けてください。また、間隔を空けた場合でも、本製品全体を覆うような形での設置はおやめください。
その他の注意事項については、「2.安心してお使いいただくために」の記載内容にしたがってください。
引っ掛け穴の寸法は下記の通りです。



8. ご使用方法

使用方法や接続についてケーブルテレビ事業者からの指示がある場合には、それに従ってください。

本製品に同軸ケーブル（CATV のケーブル）が接続されているのを確認し、AC アダプタを本製品に接続してください。その後 AC コードを電源コンセントに差し込んでください。
本製品は、電源が入ると自動的に CATV 局から送られてくる通信用チャンネルを探し、必要な設定をダウンロードして、お客様のパソコンなどをネットワークに接続できる状態になります。

本製品が正常に動作しているとき、前面の LED ランプは、以下のようになります。

POWER ··········点灯
DS····················点灯
US····················点灯
ONLINE···········点灯
LINK1~4··········点灯または点滅（有線 LAN 未使用時は消灯）
WLAN··············点灯または点滅（無線 LAN 未使用時は消灯）
WPS ················点灯（WPS 使用時は点滅、WPS 無効時は消灯）

本製品の電源を切る場合には、先に AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。
また、本製品の電源を再投入する場合は、必ず電源を切った状態で 10 秒以上おいてから、電源を入れてください。

9. 仕　様

本製品は、DOCSIS (Data-Over-Cable Service Interface Specifications) に準拠しています。

表２　仕様一覧

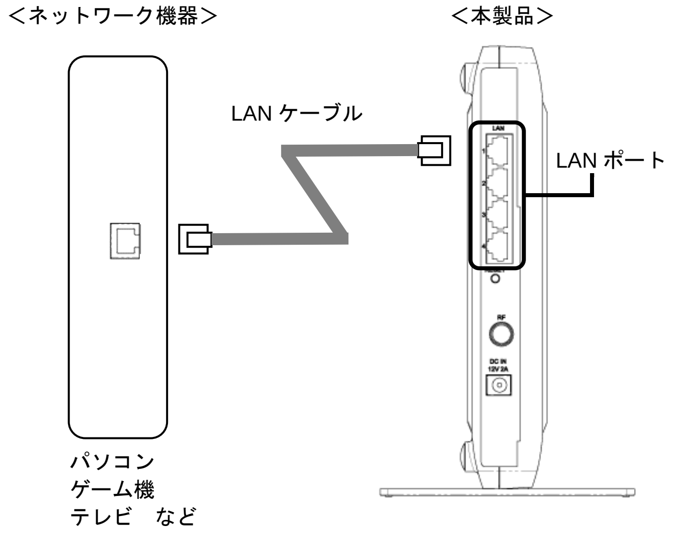
I/F 仕様	有線 LAN 側	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T (RJ45)オートネゴシエーション 4 ポート
	無線 LAN 側	IEEE802.11n/IEEE802.11g/IEEE802.11b 2.4GHz ～ 2.484GHz (1 ～ 13ch)
	ケーブルテレビ (RF)側	F タイプ 75 オーム
機器仕様	電源入力	本体：DC 12V 2A (AC アダプタにて供給) AC アダプタ(注)：AC 100V(50Hz/60Hz)
	消費電力	12W 以下(平均)
	外形寸法(本体) およそ (単位 mm)	38(幅) × 203(高さ) × 160(奥行) (突起物含まず)
	質量(本体のみ)	約 440g
	動作周囲温度/湿度	0℃ ～ 40℃ / 10% ～ 90% (結露なし)
	保管温度/湿度	-10℃ ～ 70℃ / 10% ～ 90% (結露なし)

注）付属のACアダプタ以外は絶対に使用しないでください。

10. ネットワーク機器を接続する

10.1. 有線 LAN での接続

本製品の LAN ポートとネットワーク機器の LAN ポートを、LAN ケーブルで接続します。



＊使用するLANケーブルはカテゴリ5e以上をご利用ください。

＊接続するネットワーク機器は、IPアドレス、DNSサーバーアドレスを自動（DHCP）で取得するように設定してください。

10.2. 無線 LAN での接続（Windows 7 編）

（1）タスクトレイ（デスクトップ右下）のネットワークアイコンをクリックします。

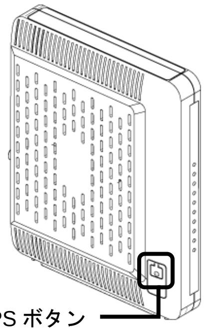
（2）表示されたワイヤレスネットワークの一覧から、接続するネットワーク SSID を選択し、接続ボタンをクリックします。
本製品のネットワーク SSID（プライマリー）は、本製品の側面にあるラベルに記載されている「プライマリーSSID」をご確認ください。

＊お客様でネットワーク SSID を設定された場合は、設定内容をご確認ください。

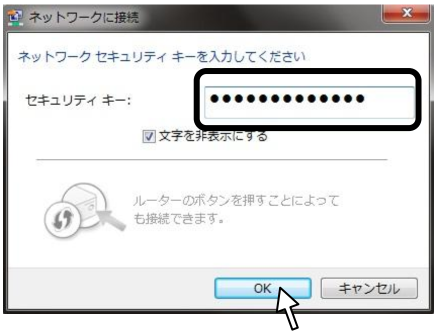
（3）ネットワークセキュリティキーを入力する画面が表示されます。
その際、本製品の「WPS ボタン」を押して接続する方法（4-1）と、セキュリティキーを入力する方法（4-2）と 2 種類あります。

(4-1) 表示された画面に「ルーターのボタンを押すことによっても接続できます。」の記述があれば、この状態で、本製品の WPS ボタンを押すことで接続することができます。
WPS ボタンを 6 秒以上押し続け、その後、ボタンを離すと WPS 機能が動作します。WPS 動作中は、本製品前面の「WPS」ランプが点滅します。

<本製品>

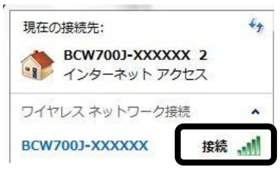


(4-2) 本製品の側面にあるラベルに記載されている「WPA 暗号キー」を入力して O.K ボタンをクリックします。



* お客様で WPA 暗号キーを設定された場合は、設定内容が反映されます。

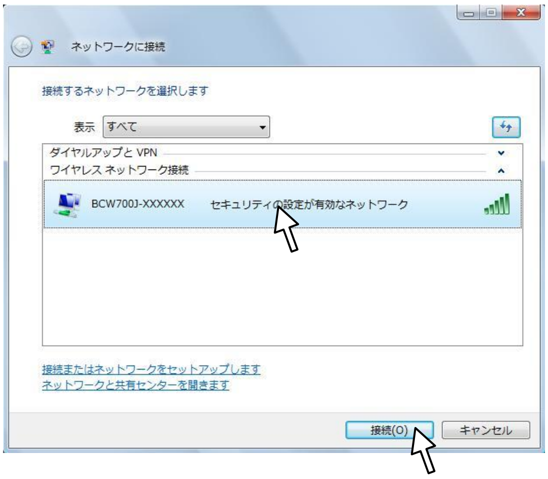
(5) タスクトレイ（デスクトップ右下）のネットワークアイコンを再度クリックして、「接続」と表示されていれば接続完了です。



10.3. 無線 LAN での接続（Windows Vista 編）

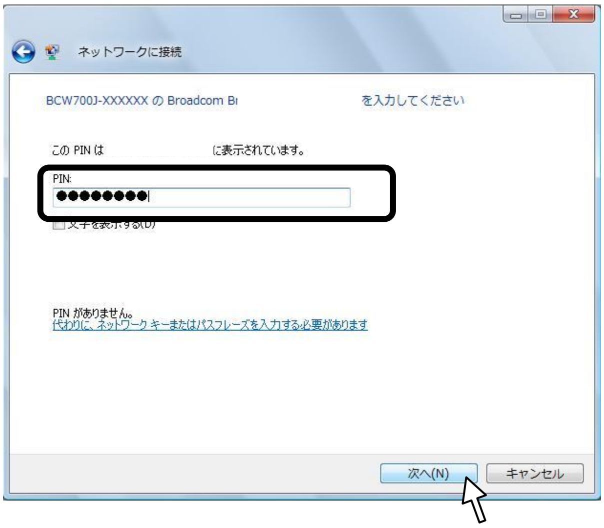
（1）デスクトップ左下の「スタート」ボタンをクリックして、スタートメニュー右側に表示された「接続先」ボタンをクリックします。

（2）表示されたワイヤレスネットワークの一覧から、接続するネットワーク SSID をクリックして選択し、接続ボタンをクリックします。本製品のネットワーク SSID（プライマリー）は、本製品の側面にあるラベルに記載されている「プライマリーSSID」をご確認ください。

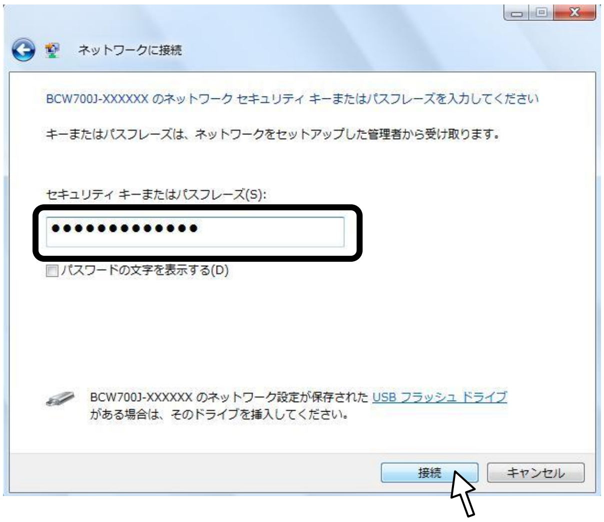


＊お客様でネットワーク SSID を設定された場合は、設定内容をご確認ください。

(3) PIN コードを入力する画面、または、ネットワークセキュリティキーを入力する画面が表示されます。
その場合、本製品の側面にあるラベルに記載されている「PIN コード」、または、「WPA 暗号キー」を入力してボタンをクリックします。



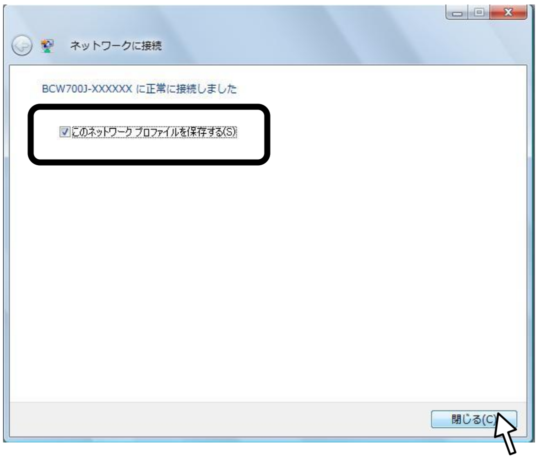
＊PIN コードで
接続する場合



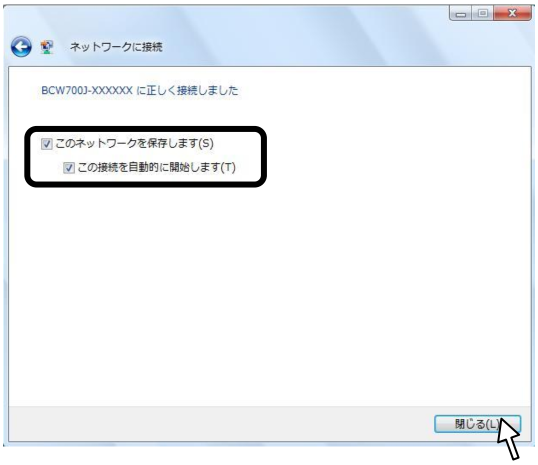
＊セキュリティキー（WPA 暗号キー）で
接続する場合

＊お客様で WPA 暗号キーを設定された場合は、設定内容が反映されます。

(4) PIN コード、または、セキュリティキーを入力すると、「接続しました」と画面に表示されます。その際、全ての項目にチェックが入っている状態で画面を閉じてください。



＊PIN コードで
接続した場合



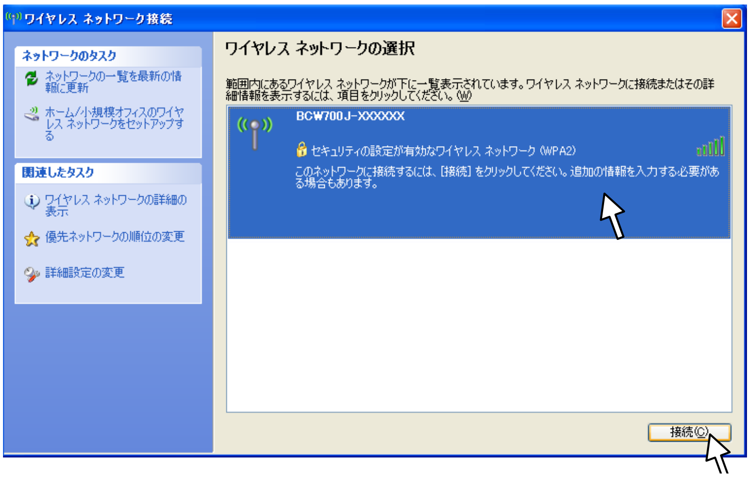
＊セキュリティキー
（WPA 暗号キー）
で接続した場合

(5) デスクトップ左下の「スタート」ボタンを再度クリックして、スタートメニュー右側に表示された「接続先」ボタンをクリックし、ネットワーク SSID のあとに「接続」と表示されていれば接続完了です。

10.4. 無線 LAN での接続（Windows XP 編）

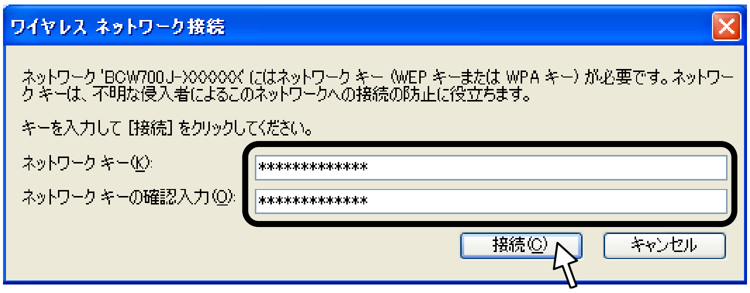
（1）デスクトップ左下の「スタート」ボタンをクリックして、スタートメニュー右側に表示された「接続」ツリー内の「ワイヤレスネットワーク接続」をクリックします。

（2）表示されたワイヤレスネットワークの選択から、接続するネットワーク SSID をクリックして選択し、接続ボタンをクリックします。本製品のネットワーク SSID（プライマリー）は、本製品の側面にあるラベルに記載されている「プライマリーSSID」をご確認ください。



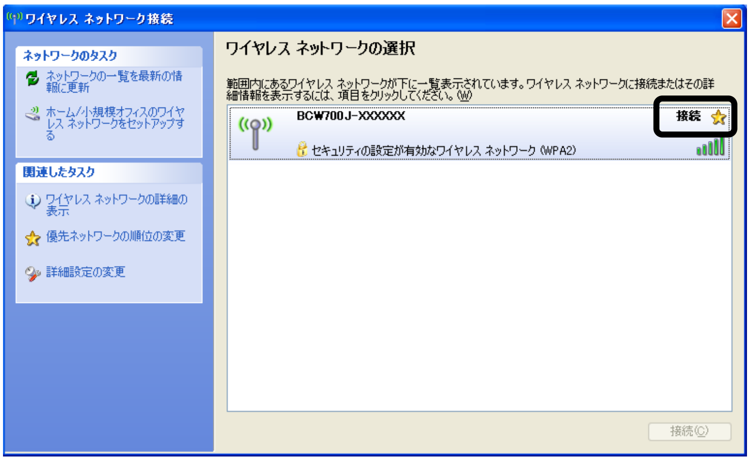
＊お客様でネットワーク SSID を設定された場合は、設定内容をご確認ください。

（3）ネットワークキーの入力する画面が表示されます。
本製品の側面にあるラベルに記載されている「WPA 暗号キー」を入力して接続ボタンをクリックします。



＊お客様で WPA 暗号キーを設定された場合は、設定内容が反映されます。

ワイヤレスネットワークの表示に「接続☆」と表示されていれば接続完了です。



10.5. 無線 LAN での接続（MAC OS X 編）

（1）デスクトップ右上の無線アイコンをクリック、「AirMac を入にする」をクリックして、AirMac 機能（無線 LAN）を有効にします

(2) デスクトップ右上の無線アイコンをクリック、表示されたワイヤレスネットワークのリストから、接続するネットワーク SSID をクリックします。
本製品のネットワーク SSID（プライマリー）は、本製品の側面にあるラベルに記載されている「プライマリーSSID」をご確認ください。

＊お客様でネットワーク SSID を設定された場合は、設定内容をご確認ください。

(3) ネットワークキーの入力する画面が表示されます。
本製品の側面にあるラベルに記載されている「WPA 暗号キー」を入力して、「このネットワークを記憶」にチェックが入った状態で OK ボタンをクリックします。

＊お客様で WPA 暗号キーを設定された場合は、設定内容が反映されます。

(4) デスクトップ右上の無線アイコンをクリック、SSID の前にチェックマークが表示されていれば接続完了です。

10.6. 無線 LAN での接続（iPad / iPhone 編）

（1）画面上の「設定」アイコンをタッチします。

（2）設定項目の「Wi-Fi」をタッチして、ワイヤレスネットワークを選択する一覧から、接続するネットワーク SSID をタッチします。
本製品のネットワーク SSID（プライマリー）は、本製品の側面にあるラベルに記載されている「プライマリーSSID」をご確認ください。

＊お客様でネットワーク SSID を設定された場合は、設定内容をご確認ください。

(3) パスワードを入力する画面が表示されます。
本製品の側面にあるラベルに記載されている「WPA 暗号キー」を入力して「Join」をタッチします。

＊お客様で WPA 暗号キーを設定された場合は、設定内容が反映されます。

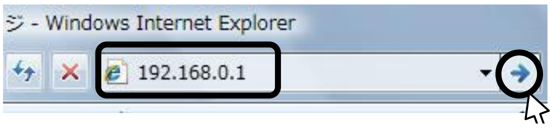
（4）SSID の前にチェックマークが表示されていれば接続完了です。

＊SSID の右にある「＞」ボタンをタッチするとアドレスの取得内容が確認できます。

10.7. 無線 LAN での接続（WEP 認証での接続）

接続する機器の無線認証が WEP 方式のみ対応している場合（ニンテンドーDS / DS Lite など）、本製品に別途、WEP の設定が必要になります。
（本製品の工場出荷状態は、WEP 認証が無効になっています）

（1）本製品とパソコンを有線 LAN で接続した状態で、Internet Explorer などの Web ブラウザを起動して、Web ブラウザのアドレスバーに「192.168.0.1」（本製品の管理用 IP アドレス）と入力し、キーボードの ENTER キーまたは Web ブラウザのアクセスボタンをクリックします。



＊お客様で管理用 IP アドレスを設定された場合は、設定内容が反映されます。

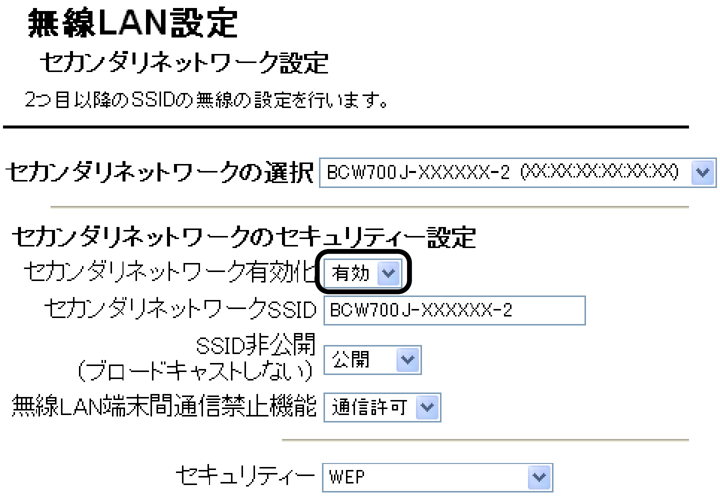
（2）ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されますので、入力後に O.K ボタンをクリックします。
本製品のユーザー名とパスワードは、本製品の側面にあるラベルに記載されている「ユーザー名」「パスワード」をご確認ください。

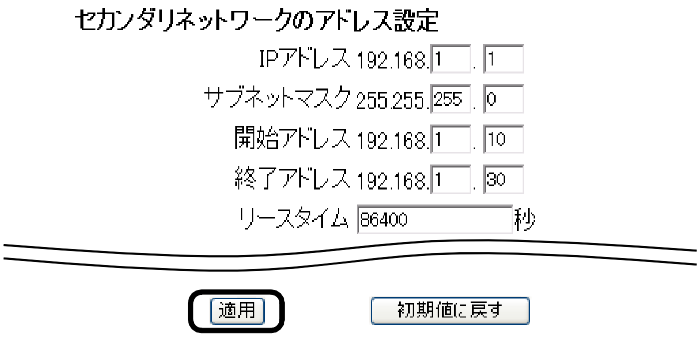
＊お客様でユーザー名とパスワードを設定された場合は、設定内容が反映されます。

(3) 表示されたページの上側のメインメニュー「無線 LAN 設定」のリンクをクリックします。

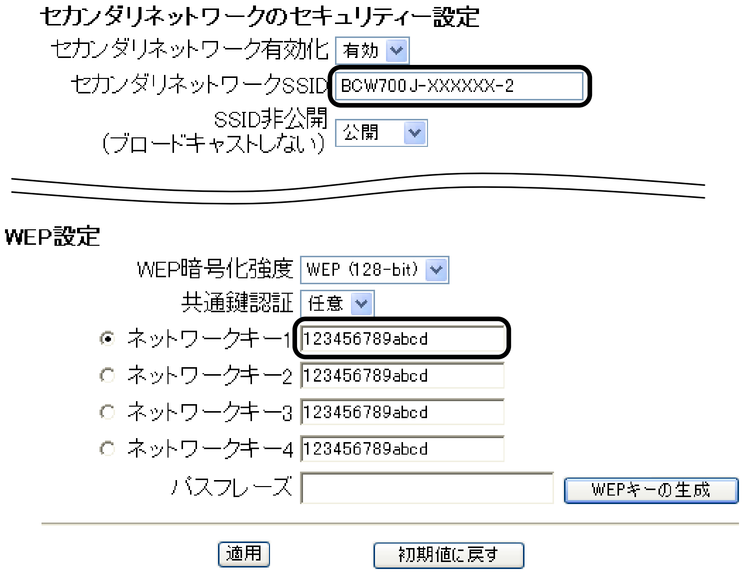
(4)「無線 LAN 設定」のリンクをクリックした後、表示されたページ左側のサブメニュー「セカンダリネットワーク」のリンクをクリックします。

(5) 表示された画面の「セカンダリネットワークのセキュリティー設定」項目内のセカンダリネットワーク有効化について「有効」を選択し、画面下部の「適用」ボタンをクリックします。





（6）以上で本製品の設定は完了しました。表示された画面の「セカンダリネットワークのセキュリティー設定」項目のセカンダリネットワーク SSID と WEP 暗号化関連の設定内容について確認します。
SSID とネットワークキーは、WEP 認証で接続する無線機器を設定する場合に必要となりますので、必要に応じてメモを取ってください。



10.8. 無線 LAN での接続（その他の機器）

本製品の側面ラベルにある無線ネットワーク名（SSID）、認証方式・セキュリティキーを確認してください。（お客様で設定された場合は、設定後の値が有効になります）
詳細な接続方法については、接続する機器の取扱説明書にしたがってください。

10.9. 無線 LAN での接続に失敗する場合

・接続する機器に無線 LAN スイッチがある場合は、スイッチを ON にしてください。OFF になっていると無線 LAN で接続できない場合があります。詳細は接続する機器の取扱説明書などでご確認ください。

・無線 LAN の「SSID」や「暗号キー」の設定が、本製品と接続する機器と同じであるか確認してください。一致していないために接続できない場合があります。詳細は接続する機器の取扱説明書などでご確認ください。

・接続するパソコンが IP アドレスと DNS サーバーのアドレスを自動で取得する（DHCP）設定になっているか確認してください。詳細な確認方法はパソコン OS のヘルプなどを参照してください。
（例：Windows の場合、[スタート]-[ヘルプとサポート]をクリック）

・電子レンジ付近、静電気や電波障害の発生する場所、金属ドアで遮断された部屋などでは、無線 LAN の電波が届かなくなったり、通信切断や速度低下などの不安定な状態になったりする場合があります。場所を変えてご確認ください。

・本製品の工場出荷状態への初期化（P.45 参照）を行って、再度設定を行った上、ご確認ください。

・接続する機器の取扱説明書などに記載されている接続手順、トラブルシューティングをご確認ください。

・ご契約のケーブルテレビ事業者のサービス内容によっては使用できない場合があります。ご契約のサービス内容をご確認ください。

11. 工場出荷時設定と初期化方法について

本製品の工場出荷時のアドレス情報です。

管理用 IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
ユーザー名	user
パスワード	password

本製品とパソコンを LAN ケーブルで接続して、Web ブラウザのアドレス欄に本製品の「管理用 IP アドレス」を入力し、表示された画面に「ユーザー名」と「パスワード」を入力することでアクセスできます。
「ユーザー名」と「パスワード」は半角英数字を使用し、大文字・小文字を区別しますので、アクセスに失敗する場合はパソコンの設定を確認してください。

お客様で設定した管理用 IP アドレスやユーザー名、パスワードなどを忘れてしまった場合には、本製品の工場出荷状態への初期化を行い、再度設定をやり直してください。
本製品の電源を入れた状態で背面の RESET ボタン（P.21 参照）を 6 秒以上押し続けると工場出荷状態に戻ります。工場出荷状態に初期化するとお客様で変更した内容が全て失われますので、再設定をする必要があります。

（注意）

＊お客様で本製品の「管理用IPアドレス」、「ユーザー名」、「パスワード」を変更された場合、変更後の値でのアクセスとなります。
初期化をすると、全ての値が工場出荷時に戻ります。

＊本製品の Web 画面の表示に異常がある場合、Web ブラウザが対応していない可能性があります。この場合は Web ブラウザの種類を変えて再実行してください。

2011 年　 7 月　26 日　　　　　D1 版発行

発　行　　株式会社ブロードネットマックス

〒 108-0075 東京都港区港南４－１－８　リバージュ品川